令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	機械製図	単位数	２	学年	２	科	機械科

１、科目の目標

・製図に関する規格に従って、製作図を正しく読み、明瞭にかくことができるようにする。
・二次元ＣＡＤの基本機能、応用機能を理解し、操作方法を習得する。
・基礎製図検定の合格を目標とする。

２、使用教科書・副教材

機械製図（実教出版）　機械製図練習ノート（実教出版）　基礎製図検定問題集（全国工業高等学校長協会）
自作テキスト（ＣＡＤ）

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	・製作図について （あらまし、図形の表し方、寸法記入） ・手書き製図 製図例「支持台」 製図例「軸受 製図例「平歯車」	考査は行わない。	20
	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	基礎製図検定対策 基礎製図検定対策及び検定 製図例「ボルト・ナット」	基礎製図検定を中間考査扱いとする。	28
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	ＣＡＤ ＣＡＤシステムの役割 二次元ＣＡＤの基本的な機能と利用 ・作図機能 ・図形の編集機能 ・寸法記入機能 ・文字入力機能	考査は行わない。	22

４、評価の方法

観点	(1) 知識・技能	(2) 思考力・判断力・表現力等	(3) 学びに向かう力，人間性等
評価の趣旨	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、図面などを正しく読み、作成することができる。	各種機械や部品の製作に使用される図面などの作成における諸問題を的確に把握（分析）し、考察を深めるとともに、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付ける。	各種機械や部品の製作に使用される図面などを作成することに興味・関心を持ち、機械製図の意義や役割の理解及び諸問題の解決を目指して、主体的に取り組む。
評価区分	Ａ：「充分満足できる」状況　Ｂ：「おおむね満足できる」状況　Ｃ：「努力を要する」状況		

５、学習にあたっての注意とアドバイス

作品の提出期限を守る。　検図の徹底を図る。